

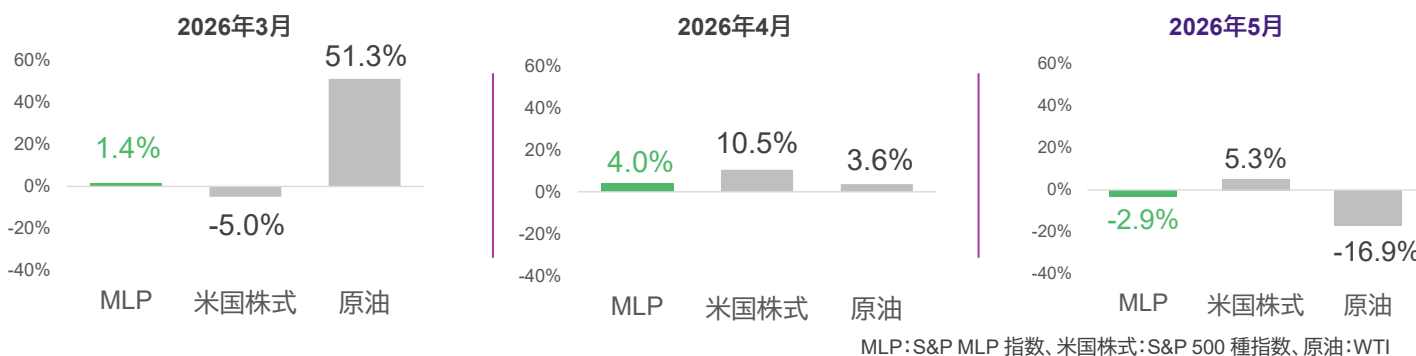
当月のS&P MLP 指数の動き

5月のS&P MLP 指数(米ドルベース/トータルリターン)は、前月末比-2.9%と5か月ぶりの下落となりました。

月初は、米国とイランが戦闘終結で合意する可能性が意識され、原油先物が大きく下落したことなどを背景に、MLPは軟調に推移しました。その後、米国とイラン間の協議難航が伝わると、原油先物とともにMLPは上昇し、S&P MLP指数が過去最高値を更新しました。しかしながら月末にかけては、戦闘終結に向けた交渉進展への期待が拡がり、原油先物が急落したことから、MLPも下落基調となりました。

過去3カ月の主要指標の月次騰落率

(米ドルベース、トータルリターン)



主要指標の動き

休場の場合は、直前の営業日のデータを使用	指数値	指数値	指数値	指数値	騰落率		
	当月末	前月末	3カ月前月末	前年末	1ヵ月	3ヵ月	前年末比
	2026/5/31	2026/4/30	2026/2/28	2025/12/31			
S&P MLP 指数(米ドルベース)							
トータルリターン	11,904.43	12,264.91	11,625.07	9,966.65	-2.9%	2.4%	19.4%
プライスリターン	2,001.14	2,091.27	1,990.21	1,735.11	-4.3%	0.5%	15.3%
S&P 500種 指数(米ドルベース)							
トータルリターン	16,935.35	16,088.56	15,323.80	15,220.45	5.3%	10.5%	11.3%
プライスリターン	7,580.06	7,209.01	6,878.88	6,845.50	5.1%	10.2%	10.7%
S&P 500種 エネルギー株指数(米ドルベース)							
トータルリターン	2,055.93	2,177.05	2,042.70	1,631.23	-5.6%	0.6%	26.0%
プライスリターン	854.93	910.23	855.10	687.34	-6.1%	-0.0%	24.4%
S&P 米国 REIT 指数(米ドルベース)							
トータルリターン	2,152.21	2,153.24	2,096.17	1,883.85	-0.0%	2.7%	14.2%
プライスリターン	394.16	394.94	387.62	349.46	-0.2%	1.7%	12.8%
米国ハイイールド債(ICE BofA 米国ハイイールド・インデックス(米ドルベース))							
トータルリターン	1,897.73	1,888.40	1,879.14	1,867.06	0.5%	1.0%	1.6%
プライスリターン	69.58	69.63	70.06	70.38	-0.1%	-0.7%	-1.1%
米国10年国債利回り							
	4.43%	4.37%	3.94%	4.16%	0.1%	0.5%	0.3%
原油(WTI) 米ドル/1バレル当たり							
	87.36	105.07	67.02	57.42	-16.9%	30.3%	52.1%
天然ガス先物 米ドル/百万btu当たり							
	3.29	2.77	2.86	3.69	18.9%	15.1%	-10.7%
米ドル(対円)							
	159.27	156.59	156.05	156.71	1.7%	2.1%	1.6%

信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成

※「米国10年国債利回り」の騰落率は、変化率(%)ではなく、利回りの変化幅を示しています。

●上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当月の出来事いろいろ

- ・トランプ米大統領は14日、イラン問題でこれ以上我慢するつもりはないと述べた。15日には、中国の習主席とホルムズ海峡の開放で合意したものの、イランへの働きかけを同氏に要請しなかったと述べた。一方、イランの外相は米国への不信感を表明した。また、欧米の原油先物が上昇した。こうした動きから、欧米の国債利回りが上昇し、10年債では一時、ドイツで2011年5月以来、英国で2008年以來、米国で2025年5月以來の高水準となった。米株式相場は、原油高や長期金利の上昇への警戒感などを背景に反落した。
- ・トランプ大統領は17日、イランに対して、時計は進んでおり、早く動かなければ、何も残らなくなるとSNSに投稿した。また、取材に対し、イランがより良い提案を示さなければ、はるかに大きな打撃を受けるだろうと答え、同国を攻撃する可能性を示唆した。18日のアジア時間に欧米の原油先物が上昇した。
- ・20日、トランプ大統領は、イランとの交渉は最終段階にあり、数日間待つ用意があると述べた一方、合意に至らなければ攻撃を再開するとした。また、4月のFOMC(連邦公開市場委員会)の議事要旨が公表され、インフレ率が目標の2%を上回り続けた場合、利上げ検討の必要性が生じる可能性が高いと過半数の参加者が指摘したことが明らかになった。米国とイランとの交渉進展期待が高まり、原油先物が大幅安となった。
- ・27日、イラン国営テレビは、米国との戦闘終結に向けた覚書の草案の内容として、イランがホルムズ海峡の商業航行を1ヵ月以内に紛争前の水準に戻す一方、米国はイランに対する海上封鎖を解除すると報じた。これを受け、原油先物が下落し、WTIが1バレル=90米ドルを割り込んだ。
- ・29日、トランプ大統領が、イランとの合意内容について最終判断を下すべく、会議に入るとSNSに投稿した。これを受けて、原油先物が下落した。

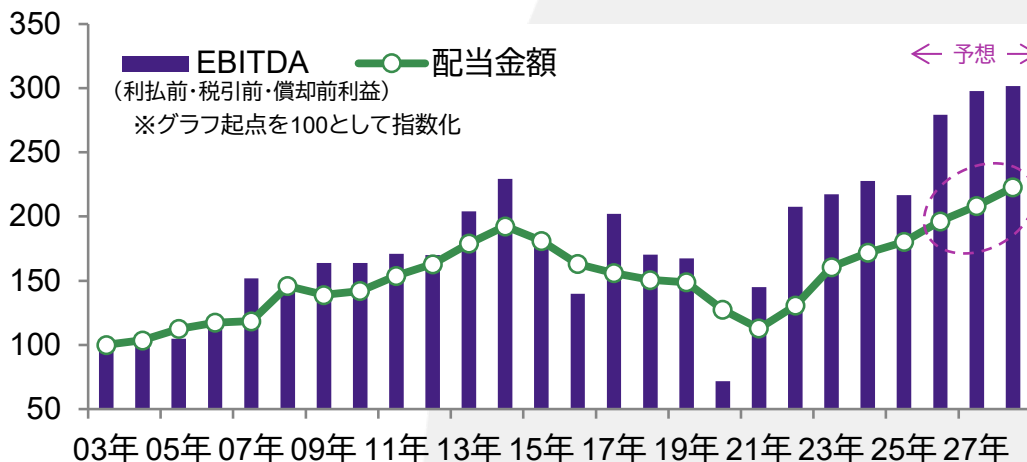
今後の注目点

- ・6月16・17日開催の米FOMCにおいて、市場では、今回も政策金利を据え置くとの見方が優勢となっている。今後の米国の金融政策を見通す上では、声明文に加えて、FOMCメンバーによる景気・金利見通しなどが注目される。

MLPの配当金額見直し

2026年1-3月期の決算では、前年同期比で増配とするMLPは半数程度*でした。なお、市場予想によると、MLPの配当金額は今後も、増加基調の見直しです。

MLP*の利益と配当金額の推移 2003年～2028年予想 * S&P MLP 指数ベース



信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成
 ※予想は2026年6月1日時点のコンセンサス予想
 ●上記グラフ・データは過去のものおよび予想であり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

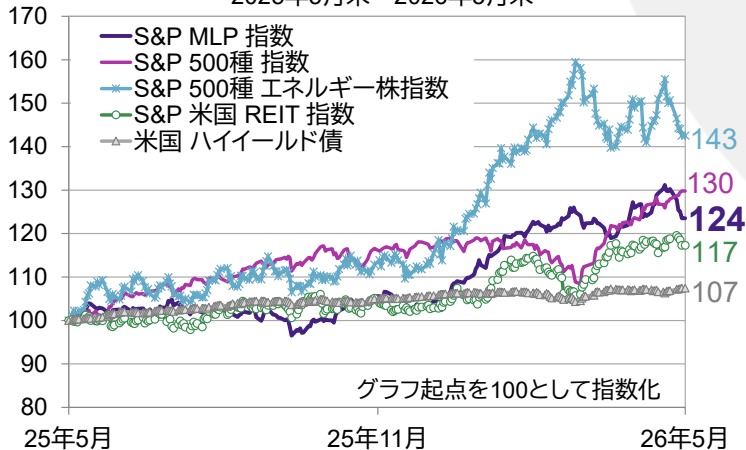
2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

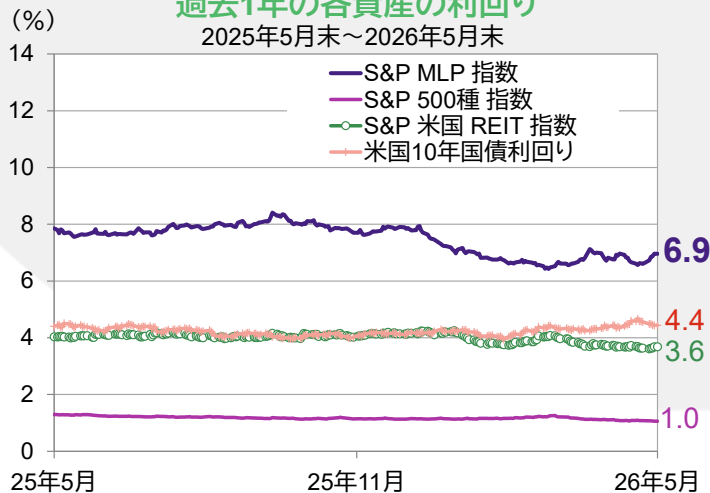
過去1年の指数の推移 (米ドルベース/トータルリターン)

2025年5月末～2026年5月末



過去1年の各資産の利回り

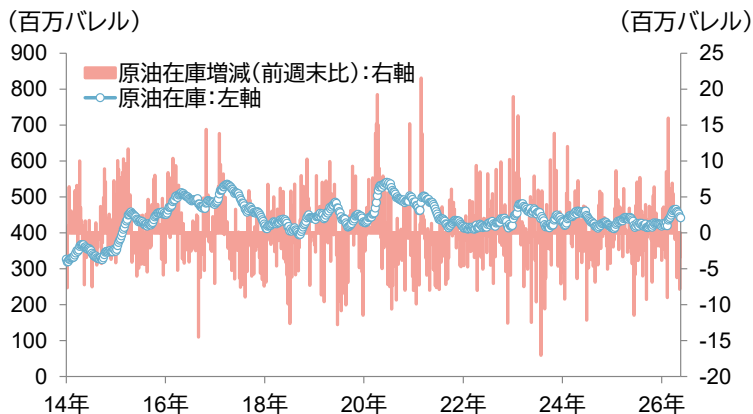
2025年5月末～2026年5月末



※各資産のリスク特性はそれぞれ異なるため、利回りだけで比較できるものではありません。
※上記利回りは切り捨てにて端数処理しています。

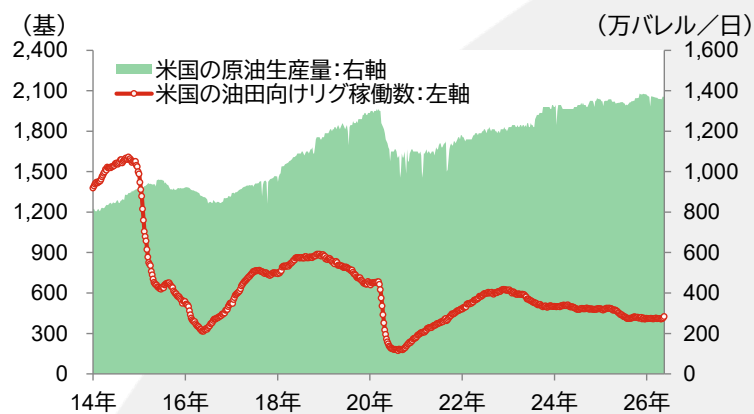
米国の原油在庫

2014年1月第1週末～2026年5月第3週末



米国の原油生産量と油田向けリグ稼働数

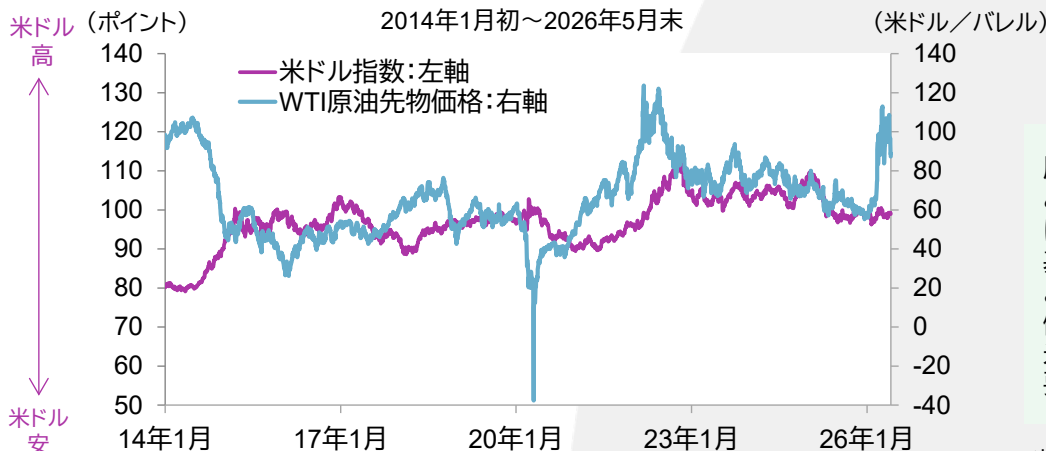
2014年1月第1週末～2026年5月第3週末



原油価格は、原油需給の影響を大きく受けます。一般的に、原油在庫が増えれば(減れば)、需給緩和と懸念(引き締め期待)から、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。また、油田向けのリグ稼働数が増え(減り)、原油生産量が増える(減る)と、需給緩和と懸念(引き締め期待)などから、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。

原油価格と米ドル指数*

2014年1月初～2026年5月末



原油は、米ドル建てで取引されることから、米ドル相場の影響を受ける傾向がみられます。米ドル安基調に振れる場合、割安感などにより、原油価格に押し上げ圧力が働く可能性が考えられることから、米ドル相場の動向には注視が必要です。

* 米ドル指数は主要通貨に対する米ドルの水準や動きを示す指数です。

信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成

●上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

※当資料に示す各指数の著作権等の知的財産権その他一切の権利は、各指数の算出元または公表元に帰属します。

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。